



2025年2月6日
東京製鐵株式会社

シンガポールの有力鋼材商社 Steelaris 社に約 3,000 トンの「ほぼゼロ」厚板を販売

当社はシンガポールの有力鋼材商社である Steelaris 社に対して、グリーン鋼材「ほぼゼロ」の厚板を累計 3,000 トン販売いたしました。本取引は、グリーン鋼材「ほぼゼロ」の供給拡大に向けた販売戦略を一層強化するものであり、シンガポールにおける持続可能な産業の発展に大きく貢献するものです。

今回販売したのは、当社が開発したグリーン鋼材「ほぼゼロ」の海外向け製品「Ultra Low CO₂ Emissions Steel」です。当社「ほぼゼロ」は、非化石証書やデマンド・レスポンス等を活用することにより、Scope2 の電力起因 CO₂ を削減し、鉄鋼製品 1 トンあたりの製造時 CO₂ 排出量を従来の約 0.4 トンから約 0.1 トンに削減した商品です。

シンガポール政府は「Singapore Green Plan 2030」に基づき、2030 年までに全ての建物をグリーン化することを計画しています。これに伴い、電炉鋼材に代表されるグリーンスチールの需要が急拡大していることから、今回、当社はその需要に応えるべく、「ほぼゼロ」の輸出に踏み切ったものです。

近年、海外の環境先進企業からも、製品に関する詳細な環境情報（鋼材製造時の CO₂ 排出量やリサイクル率など）の開示が求められており、当社は製品別の環境製品宣言（EPD）取得や、鋼材検査証明書（ミルシート）への環境情報の記載など、透明性のある情報提供を行っています。

このような取り組みを通じて、当社はお客様のニーズに応えるとともに、持続可能な社会の実現に向けてさらなる貢献をしてまいります。



- ・東京製鐵のグリーン鋼材「ほぼゼロ」:

https://www.tokyosteel.co.jp/assets/docs/top/hobozero_release.pdf



ウェブサイト: <https://steelaris.com/>

- ・お問い合わせ先: <https://www.tokyosteel.co.jp/contact/>